

【資料提供】

月日(曜日)	担当課(室)担当名	電話	担当者
6月28日(火)	徳島県立近代美術館	088-668-1088	安達一樹 江川佳秀

徳島県立近代美術館 特別展「日本の戦後彫刻」を開催します

1 趣旨

徳島県立近代美術館では、相生森林美術館の協力を得て、特別展「日本の戦後彫刻」を開催します。この展覧会は、当館の所蔵作品と相生森林美術館が所蔵する作品によって、第二次世界大戦後の1950年代から2000年代にかけての日本の彫刻の移り変わりを紹介しようとするものです。

日本の戦後美術の動向は、1970年代から80年代頃を境にその様子を大きく変えました。それは、彫刻においては“もの”と“語り”の関係の変化として見ることができます。彫刻は、物体そのもの、そしてその物体が存在する空間により、作者の思いが表現されます。

この展覧会では、物体と空間を“もの”、作者の思いを“語り”、そしてそれらが結合して表現された作品を“物語”にとらえ、日本の戦後彫刻の移り変わりを、「時代を反映した物語」「寡黙な物語」「私の物語」のコーナーを設け、“物”と“語り”の様々な関係とその変遷をたどります。また、時系列に沿った各コーナーのサテライト展示として、テーマで作品を集めたトピック展示を設けています。

時代とともにその“語り”は変わってきましたが、作者の思いは全て作品という“もの”によって語られています。彫刻は、“もの”がそこにあることで成就する実体の芸術です。彫刻の鑑賞は、彫刻が実体の芸術であることから、作者の語りの身体的な体験といえます。その語りの変遷をたどるこの展覧会は、デジタル化していく現代を生きる人々にとって、リアルな美的体験の機会となることでしょう。

2 展覧会名 特別展「日本の戦後彫刻」

3 会期 2022年7月16日(土)～9月4日(日)

4 会場 徳島県立近代美術館 展示室3

5 開館時間 午前9時30分～午後5時

6 休館日 月曜日(7月18日、8月15日を除く)、7月19日(火)

7 観覧料 一般600(480)円／高・大学生450(360)円／小・中学生300(240)円 ()内は20名以上の団体料金。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示いただいた方とその介助をされる方1名は無料。未就学児は無料。

*65歳以上の方で年齢を証明できるものをご提示いただいた方は半額。

*小・中・高生は、土・日・祝日・振替休日、および夏休み期間は無料。

- 8 主催 徳島県立近代美術館
- 9 後援 徳島新聞社、四国放送株式会社、NHK徳島放送局、エフエム徳島、(公財) 徳島県文化振興財団
- 10 協力 相生森林美術館
- 11 関連事業
- 展示解説
日時：7月24日（日）、8月28日（日） いずれも午後2時～午後3時
場所：展覧会場
講師：当館学芸員
対象：一般／申込不要／観覧券が必要です。
*手話通訳や要約筆記を希望される方は、2週間前までにご相談ください。
 - 手話通訳付き展示解説
日時：8月7日（日） 午前10時～午前11時30分
場所：展覧会場
講師：当館学芸員
対象：どなたでも（聞こえる方もどうぞご参加ください）／申込不要／観覧券が必要です。
 - 子ども鑑賞クラブ「チョウコク入門」
日時：7月30日（土） 午後2時～午後2時45分
場所：展覧会場（2階ロビーに集合）
講師：近代美術館スタッフ
対象：小学生／定員15名 電話で申込、先着順／参加無料
*保護者同伴可。観覧券が必要です。
*定員を上回った場合、午後3時から2回目を行います。
 - 触れて考える鑑賞会
日時：7月30日（土） 午後4時30分～午後6時
場所：展覧会場（3階アトリエ2に集合）
講師：当館学芸員ほか
対象：どなたでも（視覚に障がいのある方もない方も一緒に参加できます）／定員10名程度
／電話で申込、先着順／参加無料

徳島県立近代美術館

電話：088-668-1088

ファックス：088-668-7198

E-mail：art@bunmori.tokushima.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期や催しに変更・中止となる場合があります。

【広報用画像の提供について】

展覧会の広報用として、次の作品の画像を提供できます。必要な場合はご連絡ください。
提供方法は、画像データの提供となります。使用にあたっては、「作者名」、「作品名」、「所蔵者名」
を明示してください。

作者名：鈴木 実
作品名：家族の肖像
制作年：1981年
技法材質：木（ラワン）
相生森林美術館 蔵



作者名：青木 千絵（あおき ちえ）
作品名：BODY 08-1
制作年：1981年
技法材質：漆、麻布、発泡スチロール
徳島県立近代美術館 蔵

